

北海道穂別高等学校PTAだより

発行日 令和3年9月30日
穂別高校PTA研修委員会

【Contents】

- ・PTA会長より・・・PTA会長 原口 毅
- ・校長より・・・校長 小野達彦
- ・学年より・・・各学年担任
- ・転入職員紹介
- ・令和3年度 PTA事業及び役員

がんばれ 穂高生！

PTA 会長 原口 毅



こんにちは、令和3年度のPTA会長を務めさせていただきます。原口です。

平素より保護者の皆様には本校のPTA活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。ご存じのとおり、今般の新型コロナウイルス感染症がいまだに猛威を振るい、3回目の緊急事態宣言も延長が決定されるなど、ますます予断を許さない状況となっています。昨年は予定していた多くの学校行事が中止になりましたが、今年も非常に厳しい状況となっております。このような中、生徒や保護者、教職員の皆様には、正常な学校運営にご尽力いただき、7月には「第68回穂高祭」を一部ではありますが無事開催することができました。久々に生徒の元気な歌声や演奏、高校生らしいパフォーマンスなどを拝見し、有意義な時間を過ごさせていただきました。また、コロナ禍の制限された環境の中での学校祭の準備は、さぞかし大変だったと思います。このような厳しい状況の中でも元氣や希望を与えてくれる出来事もあります。むかわ町では希望者の2回目のワクチン接種が終了しつつあります。思う様に感染は収束しませんが、「テレワーク」や「オンライン授業」などの環境が徐々に整いつつあります。このテクノロジーを駆使し不便を便利にし、新しい仕組み方法を受け入れ、このコロナ禍の生活をより良い物として乗り越えていってほしいと思います。

最後になりますが今後もPTA活動に皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

☆・・・☆・・・☆・・・☆・・・☆・・・☆・・・☆

「#優しいしか勝たん」

校長 小野 達彦

本校の生徒が三年間で何を身につけどのように成長してほしいかについて書きます。

1 学び続けること

世の中には高校に通えない人もいます。今の生活を大切にして学びを続けてほしいです。自分から進んで、時には仲間と協力して、より深い学びをしてもらいたい。

2 思いやりの気持ちを持つこと

周囲に気づき、声をかけ、相手を思いやる心を持ってほしいです。誰かに言われなくてもすぐに正しい行動ができる人になってもらいたい。

3 命を大切にすること

自然災害や事故はもちろん、自分の命を大切にしながら、相手の命も大事に考えてほしいです。どんなときでも一番大切なのは命であることを理解してもらいたい。

結局これらに共通するのは「優しい人であること」です。

では以下、昨年度卒業式での校長式辞より抜粋。

あなたの周りにいる困っている人に、あなたの優しさと思いやりを配ってください。

弱者に優しい人になってください。小さい子どもやお年寄り、病気で苦しんでいる人や身体の不自由な人、経済的に大変な人や気持ちが落ち込んでいる人などあなたの優しさを求めている人はたくさんいます。ぜひ温かい声をかけ、その優しさを届けてあげてください。校長もそうします。

穂別高校は、思いやりがあって優しい行動のできる人であふれています。以前皆さんの前で宣言したとおり、これを穂別高校の伝統にし、次の世代へと正しく引き継いでいきます。穂別高校はこれからもすべての人のために優しい学校であり続けます。

＊本校ホームページで HKB48（穂別校長ブログ）シーズン3 更新中です。ご覧ください。

～学年団より～

1 学年 『3年後の社会的自立を目指して』

1 年 A 組担任 早 瀬 憲 寿

1 学年では3年後の社会的自立を目指し、3年間を通し卒業後に繋がる社会人基礎力（コミュニケーション能力、基礎的な知識・技能、主体性、考える力）を身につけられるよう、ひとりひとりが前向きに穂別高校での生活を過ごしています。特に今年度は、「基本的生活習慣」、「基礎学力の習得」、「自他の思いやり」、「前向きに取り組む姿勢」を目標にし、日々の学校生活、学校祭をはじめとする各種学校行事を通し、少人数ながら協力し合い、1歩ずつ成長しています。



2 学年 『通過点』 2 年 A 組担任 飛 驒 勇 佑

2 学年の前期が終了したことにより、高校生活の半分が過ぎました。時間の感じ方はそれぞれで早かったり、遅かったりします。2 学年の生徒はどのように感じているのでしょうか。2 学年の学級通信のタイトルは「Anchor（船のアンカー）」、1 学年は「Maiden Voyage（初航海）」です。1 年時の目標は新たな生活にも必ず目的地はあり、その目的地のために一つ一つ課題をクリアしていくことでした。今年度は、一度落ち着いて振り返り、しっかりと目的地を見据えようという意味が込められています。具体的な進路目標が決まってきたこともあり、今後待ち受ける「インターンシップ」「見学旅行」も高校生活の通過点として立派に達成できると信じています。

保護者の方々や地域の方々に支えられ、高校生活の半分を終えることができました。もう半分は自分たちが恩返しできるように、行動できたらより素敵な2 学年を終えることができると思っています。今後も皆様のご協力をよろしくお願いします。



3 学年 『「やりきる」をテーマに互いに高め合って』

3 年 A 組担任 武 田 幸 大

3 学年から穂別高校というバトンを引き継ぎ、見学旅行や最後の学校祭、進路活動を乗り切り早いもので学校生活も残り半年になりました。71 期の生徒は大学、専門学校、公務員、民間企業と多様な進路に向き合い、互いに高め合って進路実現を目指しているところです。ある時は励まし合い、夜遅くまで一緒に勉強する。そんな姿に成長を感じております。最後までお子様に寄り添い、成長の場にてできるよう学年団で支援をしていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



☆転入職員紹介☆



教 頭 大 場 智 夫 （前任校：札幌北高校）

赴任以来この半年、素直な生徒達や地域からの温かいご支援、さらに活力にあふれる教職員の素晴らしさを実感しています。新時代におけ、本校も一つ一つ変化しています。今後ともかわらぬご支援をよろしくお願いします。



事務長 小 林 一 雅 （前任：渡島教育局）

4月に新任事務長として赴任しました。

6年ぶりの学校勤務となりますが、授業をする教員の声や放課後の廊下に響く生徒の歌声などを聞くと、学校っていいなと改めて感じています。

今後ともよろしくお願いします。



教 諭 秋 元 正 （前任校：清水高校）

このたび、清水高校から赴任しました地歴・公民科の秋元正と申します。生徒の多様な進路希望を実現できるよう努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



教 諭 橋 本 隆 行 （前任校：苫小牧青翔中学校）

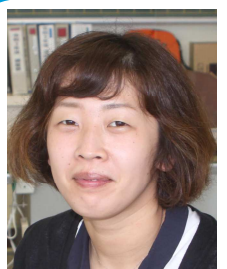
着任から半年近くがたちました。この間、授業を通じて生徒たちと一緒に汗をかき、笑ったり、叱ったり、忙しく日々を過ごさせていただいています。今後ともよろしくお願いします。



教 諭 北 森 康 義 （前任校：北見商業高校）

オホーツク、北見商業高校から赴任となりました、北森康義です。五稜郭支援、北見商業を経ての3校目です。

星の綺麗な町、人があたたかい町、という印象の穂別。わからないことばかりですが精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします！



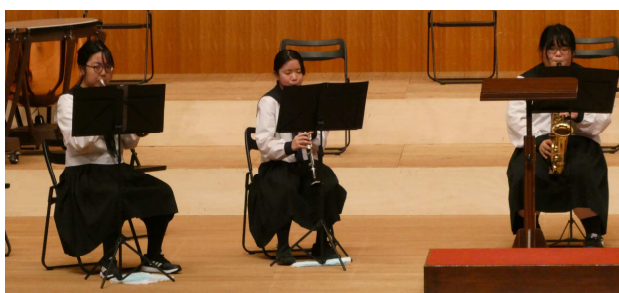
教 諭 菅 藤 章 恵 （前任校：根室高校）

着任から半年が過ぎ、5年ぶりの職場復帰は毎日が新鮮かつ目まぐるしくあっという間に過ぎていきます。授業や部活動等、何事にも真剣に取り組む穂別高生たちからパワーをもらいながら、一生懸命頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

令和3年度 P T A役員及びP T A事業

令和3年度 P T A役員		令和3年度 P T A事業	
会 長	原 口 毅	4月24日	P T A総会
副 会 長	真 壁 羽 純	5月29日	高 P 連胆振支部総会 (新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催)
〃	山 本 直 子	6月12日	高 P 連全道大会 (新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催)
〃	鎌 田 政 博	7月18日	学校祭 P T A協力
監 査	遠 藤 理 恵	9月30日	P T Aだより発行
〃	児 玉 由 希		

♪穂高生の活躍♪



<吹奏楽部>

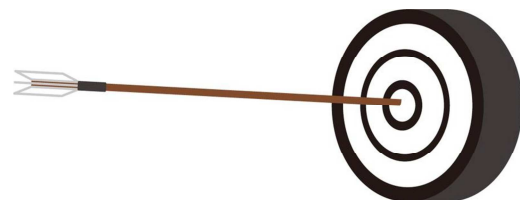
第55回 北海道高等学校文化連盟苫小牧支部音楽専門部 音楽発表大会 奨励賞受賞

<バドミントン部>

第73回室蘭支部バドミントン選手権大会 5名出場

<弓道部>

第57回室蘭支部高等学校弓道競技選手権大会 1名出場



～編集後記～

保護者の皆様には、日頃より穂別高校の教育活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける日々ですが、今年度は学校祭や高体連などの行事が実施されました。例年通りの形ではありませんが、生徒の活躍する場が戻ってきたことは、大変喜ばしいことだと思います。今後も感染予防には十二分に注意しながら、学校生活を送ってくれることを願っています。

後期になると、3年生は希望する進路に向けて、最後の踏ん張りどころとなります。2年生は見学旅行やインターンシップでの成長が期待されます。1年生は半年の高校生活を経て、より主体的な高校生活を送ってくれることでしょう。どの学年も将来の自己実現に向け、前期以上に成果の得られる時間を過ごすことのできるよう、職員全員で応援していきます。

世界中がまだまだ油断できる状況ではありません。しかし、こんなご時世だからこそ、自分の足元を見据え、身の回りに目を配り、気を配り、心を配って生活したいものです。穂別高校の生徒一人一人が学習や部活動などの学校生活に全力で取り組み、笑顔で毎日を送るよう、保護者の皆様には今後ともご協力・ご支援のほどお願い申し上げます。

